

センター通信

認知症の経過

副センター長 園原和樹 医師

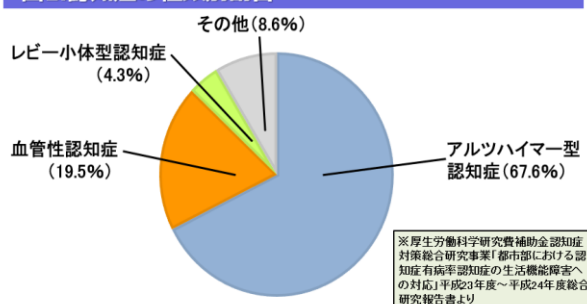
〇はじめに

前回の「センター通信令和3年度夏号」では認知症の定義と診断基準について説明しました。今回は、認知症の発病後にどのような経過をたどるか(認知症の自然経過)についてお話しします。

〇認知症の原因疾患

認知症には様々な種類があるため、代表的な認知症が何であるかを知ることが重要となります。図1に認知症の原因となった病名を示します。認知症の原因の約60%はアルツハイマー型認知症であり、これからアルツハイマー型認知症の経過についてお話しします。

図1.認知症の種類別割合



〇アルツハイマー型認知症の自然経過

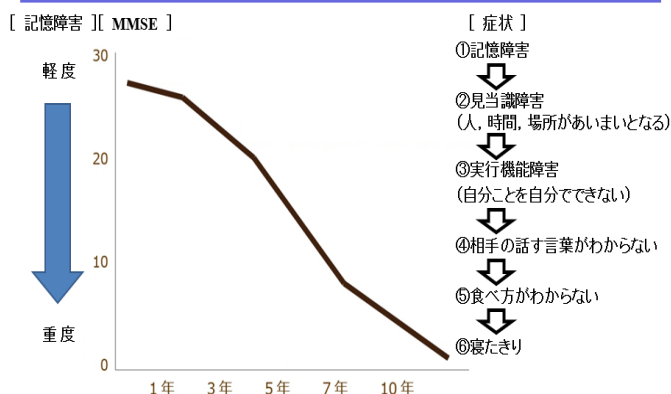
アルツハイマー型認知症は(1)ゆっくり発病して持続的に進行する物忘れ(記憶障害)があり、(2)日常生活に支障があることを特徴とします。

図2に一般的なアルツハイマー型認知症の自然経過を示します。認知症の発症前(認知

症の予備軍の時期)に記憶障害に加えて不安やうつ症状を認めることがあります。認知症の初期に記憶障害を認めますが、日常生活を一人で営むことができます。認知症の中期となると、記憶障害に加えて見当識障害(目の前にいる人がだれなのか？ 今が何時なのか？ ここは何処なのか？)が出現します。この頃になると物事を正しく判断する能力が低下し、実行機能障害(思ったことを自分で正しく実行することができない)から日常生活が制限されます。認知症の後期になると、相手が話している言葉の意味が分からなくなり、食べ方もわからなくなる結果、寝たきり状態となります。

以前、アルツハイマー型認知症の発病後の経過は3～5年と言われていました。近年、認知症治療薬が開発され認知機能低下の進行抑制ができるようになった結果、発病後の経過が5～10年へと延伸しました。認知症は早期発見・早期治療により、認知機能低下の進行を遅らせることで、患者様が住み慣れた環境で生活を送る期間を延ばすことが重要となります。

図2.認知症の自然経過～アルツハイマー型認知症の場合



ちょっと遅いですが導入されました

遅ればせながらですが、外来に体温測定機能付きの消毒ディスペンサーが導入されました。すごい！便利！と感動しましたが、もう多くの場所で導入されているようで、ちょっと遅いくらいのようですね…。知らなかったです…。

便利な機械ですが、指先の測定なので病院外から来られた方は34℃と低い体温が出てしまうことがあるようです。少し体が温まってから再度ご利用ください。



～臨床検査技師と検査の深い関係～

臨床検査技師 中島文

臨床検査技師という名前を聞いたことがありますか
病院では主に、医師の指示に従って患者の採血を行う事や病院へ来院された患者様についてさまざまな検査を行うスタッフの名称です。臨床検査技師の内容は大きく2つに分けられます。



ひとつは生体の一部(血液・髄液・組織など)や排泄物(尿・弁・喀痰など)を検査する「検体検査」、もう一つは心電図や超音波(エコー)検査など直接患者様に行う「生理検査」です。臨床検査技師とは、こうした業務を行う技術があると国家資格によって認められたもので、医療機関において様々な検査の一端を担っております。

医療の分業化と検査の高度化が進んでいるため、たくさんの検査について理解をする必要があります。現在、世界中を脅かしている COVID-19 で有名になりました病原体核酸検査である PCR 法については皆さ

んも耳にしたことがあると思います。この PCR 検査を行っているのも臨床検査技師の仕事の一つです。



医師や看護師のように表舞台に立つことは多くありませんが、縁の下の力持ちのような存在で医療現場の一部を担っています。

検査のわずかな異常から病気の予兆を発見し、医師に報告することで事前に危険を回避する事や、さらには健康診断のように健康な方に異常がないかを調べることも臨床検査を行う目的の一つです。

直接患者様にお会いする機会はあまりありませんが、検査結果を医師に提供する事でその方の経過を医師に把握してもらうといった橋渡しを行っています。自分が出した検査結果により適切な治療が実施され患者様が元気になる様子が分かるよう、日々の業務をきちんとこなすこと、また医師・患者さんにきちんとした検査や知識を提供できるよう検査についての理解度を深めることが臨床検査技師の役割であると思っています。

医療法人社団 敬仁会 桔梗ヶ原病院

〒399-6461 長野県塩尻市宗賀 1295

電話番号 : 0263-54-0012

F A X : 0263-52-9315

桔梗ヶ原病院

認知症疾患医療センター

直通電話番号 : 0263-54-7880

F A X : 0263-54-7881

E メールアドレス : geriatric-medicine@keijin-kai.jp